

2008年6月26日(木)

第3回全体報告会資料

バリアフリー委員会

【学習部】

- ・ 6月6日(金)に手話交流会を行ないました。
- ・ 6月11日(水)に第2回みんなでしゃべり場を行いました。7月はみんなでしゃべり場は行いません。

【交流部】

- ・ 7月12日(土)に夏のスポーツ交流会を行ないます。

【広報部】

- ・ 銭函高等ろう学校にバリアフリー通信を送りました。
- ・ バリアフリー通信第3号と7月のスケジュールを6月26日(木)の全体報告会で発行します。
- ・ テイカー募集のポスターが完成したので、学内に貼りました。

【介助部】

- ・ 6月10日(火)に会議を行い、筆記代行班とフィールドワーク企画班に分けました。

【CAR部】

- ・ 前期のアルミ缶の回収は7月16日(水)までです。
- ・ 第2キャンパスの回収が週に一度だと大変なので、金曜日5講時に行う予定です。CAR部の部員じゃなくてもいいので手伝える方はCAR部部長福士までお願いします。

【テイク統括部】

- ・ 6月12日(火)、16日(月)、19日(木)、23日(月)、25日(水)にテイク講習会が行われました。
- ・ 7月のテイク講習会は2日(水)、10日(木)の2回です。

【全体】

○意見交換ノートについて

- ・ 意見交換ノートは、意見があるけど言いづらい人、言う機会の少ない人が簡単に意見を言うため、またみんなの意見が見えるよう、また交換できるようにするために作りました。
- ・ 記入の際は、以下のルールを守っていただくようお願いします。
 1. 名前と日付をきちんと書いてください。
 2. 意見・要望、またそれに対する理由をしっかりと書き、目的をはっきりさせてください。
 3. 個人名、誹謗中傷は書かないで下さい。

○「聴覚障害学生支援に関する実践事例コンテスト」について

- ・第4回日本聴覚障害学生高等教育支援シンポジウム（京都）で、「聴覚障害学生支援に関する実践事例コンテスト」を下記の通り募集しています。

本学からも、BFCの「創意工夫やアイデア」について該当するものがあれば応募したいと思えます。何件出していいようです。若々しい学生らしい発想で、これまでの活動を振り返ってみて下さい！

【募集内容】

聴覚障害学生支援に関する取り組み全般。

ただし、現在までに実施している、または具体的な実施スケジュールが決まっている取り組みであること。

【募集テーマ】

①障害学生支援室のさまざまな工夫

支援室の間取りや運営の工夫／支援室で行っている取り組み全般

②支援者の募集・派遣・スキルアップのために行っている取り組み

講座開催時の工夫／独自マニュアルの作成／日頃の技術練習で行っていること／シフト表の工夫など

③情報保障の方法に関する工夫

ノートテイクを数人で見るとの方法／授業にあわせた工夫 など

④聴覚障害学生と支援学生のエンパワメントに関すること

交流を促すための企画／ニーズを引き出すための工夫／主体性を生かした取り組み など

⑤その他

支援現場のちょっとした工夫／独自に使用しているオリジナルグッズ など

【発表方法】

ポスター、5分程度の動画像も可

【審査方法】

シンポジウム一般参加者およびPEPNet-Japan 連携大学・機関関係者の投票により、最も関心を集めた取り組み数点について表彰を行う。審査は、以下の観点に基づいて行う。

- ・1人ではなくグループの力を活かした取り組みであるか
- ・大学の特徴や資源を上手く活かしているか
- ・オリジナルな発想によるユニークな取り組みか
- ・聴覚障害学生のニーズ（要望）を良く捉えたものか

次回全体報告会は7月17日（木）です。